

公開講座 & 支援者研修

若い单身女性の自立支援

講座・就労体験と地域連携



フォーラム南太田

2014
2/23, 24

＋ガールズ講座 4年間の修了者調査報告

- 若者支援・女性支援に携わる方におすすめの研修です。
- 2012年12月に発刊した『“ガールズ”自立支援ハンドブック』では、若年女性支援の必要性和プログラム等の具体的な取組について伝えました。若年女性支援は全国に波及しています。本研修ではハンドブックの内容をふまえつつ、一步踏み込んで困難をかかえる利用者像にせまり、今後の問題解決のために事例報告を行い、共有します。
- 横浜市の男女共同参画センターでは、2013年夏から秋にかけて、全国女性会館協議会の支援により「ガールズ編しごと準備講座」修了者200人、「めぐカフェ」就労体験者60人の追跡調査を実施。修了者の声をまとめた最新の調査結果とともに、支援の成果と課題を考えます。
- 一機関でできる支援には限りがあり、地域に根差した人や機関とのつながりが心強い味方になります。若者支援機関、NPO、行政など、地域の力で若い单身女性の支援の輪が広がる例も報告します。

会場：男女共同参画センター横浜南(フォーラム南太田)

対象・定員：若者/女性の支援に携わる現場スタッフ

公開講座 40人、支援者研修 25人 先着順。

参加費：2,000円(2日間。公開講座のみ1,000円)

共催：(公財)横浜市男女共同参画推進協会

NPO 法人全国女性会館協議会

申込：1/10～ 電話 045-714-5911 フォーラム南太田

または当協会 HP より→[フォーラム南太田](#)で検索



公開講座【2/23(日)13:30-16:00】

“ガールズ”編しごと準備講座 4年間・200人のその後の調査から

●植野ルナ(男女共同参画センター横浜)

若年女性の貧困・労働と家庭からの排除

●山口恵子(東京学芸大学准教授)

支援者研修【2/24(月)10:00-16:00】

【午前】

横浜市における中間的就労検討会の取組 2013 ●綿引幸代(NPO法人ユースポート横浜理事長)

就労体験事業と地域連携—3年間・60人のその後の課題 ●新堀由美子(男女共同参画センター横浜南)

【午後】

●講座利用者による報告…何が転機で内なる力が出てきて、今どこにいるか

●参加者グループ討議…支援現場での課題や今後の展望について討議、共有、ふりかえり

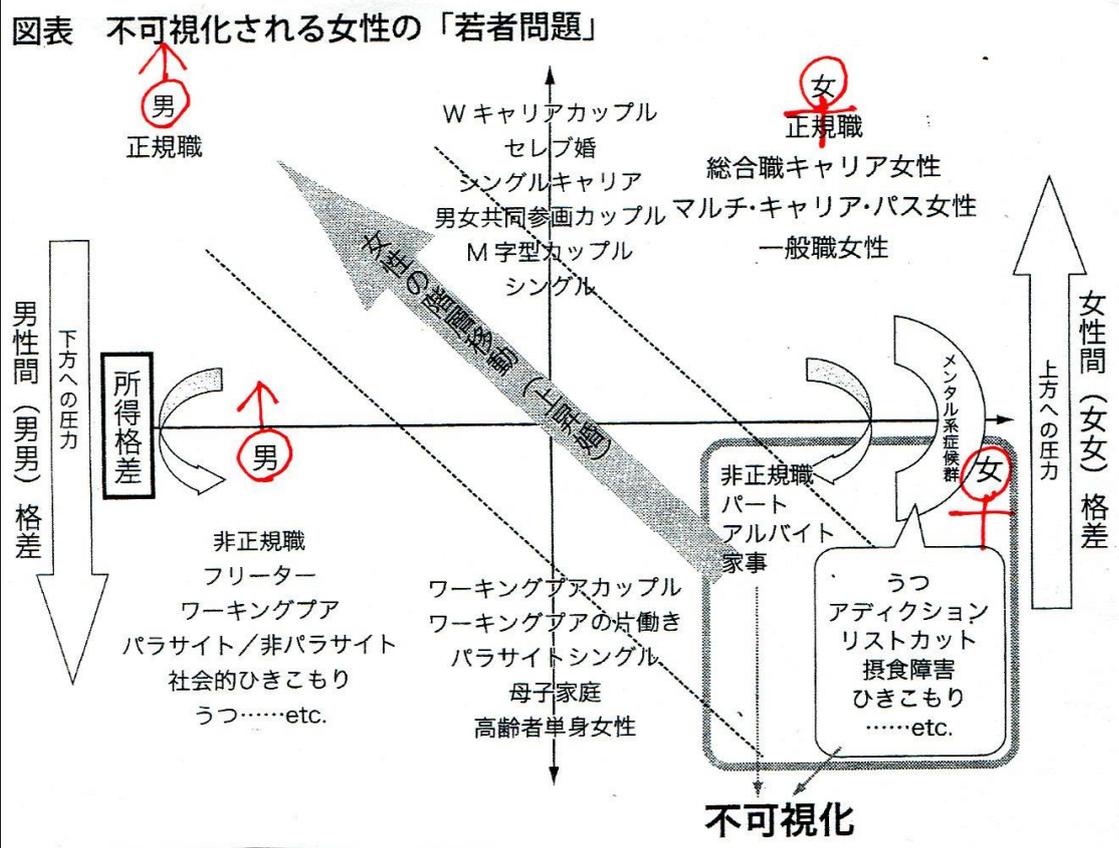
これまでの支援事業の内容および関連調査報告書は「ガールズ応援」サイトにてごらんください。

●交通のご案内

京急南太田駅下車徒歩3分、市営地下鉄吉野町駅下車徒歩7分。

横浜駅からは京急「普通」で4つめ。新横浜駅からは市営地下鉄でおこしください。

●住所：横浜市南区南太田 1-7-20



●金井淑子氏のコラム 「不可視化される「女性の〈若者問題〉」より

- ・女性内部の「女女(じょじょ)格差」が進んでいる。キャリア女性の社会参画をすすめる「上方への圧力」、そして男性労働の非正規化による「下方への圧力」が起こっている。それはカップル間の所得格差にもつながる。
- ・女性の自立困難はうつ症状、摂食障害、リストカットなどメンタル系の兆候として問題が表れてきている。
- ・社会的包括的支援にはメンタルヘルスケアの観点をふまえた支援策を。自立課題は就労だけではなく、女性が自らの性と身体に対する自己尊重感を育むという視点からも取り組む必要がある。

●最近のデータより

20～64歳の単身女性32%が貧困、母子世帯57%が貧困 (2011)

フリーター期間3年超で正社員になれた女性38.3%、男性57% (2011)

女性雇用者の57.5%が非正規雇用、男性雇用者では22.1% (2012)

25～34歳未婚女性の70%が望む年収400万円以上の同年代男性は1割

自殺を考えたことのある20代女性は34% (2012)

おすすめ本

